

# 能登の里山里海



世界農業遺産

平成23年6月認定

## 石川県能登地域

「能登の里山里海」は、農林水産業とそれに関わる人々の営みの中で守り伝えられてきた祭礼や伝統技術、美しい景観、豊かな生きものつながりなど、能登の暮らしそのものです。



### 優れた里山景観

日本海に面した急傾斜地に広がる棚田や「間垣」と呼ばれる竹の垣根、茅葺きや白壁・黒瓦の家並みなどが広がっています。



### 伝えたい伝統的な技術

日本で能登に唯一残る「揚げ浜式」と呼ばれる製塩法や、「輪島塗」といった伝統工芸、「炭焼き」などの伝統的な技術が継承されています。



### 文化・祭礼

ユネスコ無形文化遺産に登録された「あえのこと」をはじめ、農林水産業と結び付いた文化・祭礼が伝承されています。



### 伝統的な農林漁法と土地利用

稲のはぎ干し(天日干し)や海女漁などの伝統的な農林漁法が継承されています。また、干を超える「ため池」が点在し、傾斜地には多くの棚田が見られます。

### 里山里海の利用保全活動

棚田のオーナー制度や農家民宿、農林水産物のブランド化、行政と大学が連携した人材育成などが進められています。

# 世界農業遺産認定による効果

## 伝統的な農林水産業の継承

### 「能登の里山里海」の次世代への継承

- 地域内の高校生が、地域の農林水産業を支えてきた「地域の名人」を訪ね、その知恵や工夫、思いを聞き取りまとめる「聞き書き研修」を平成24年度から実施。高校生からは、「名人のように社会に貢献できるような人になりたい」、「地域に対する見方が変わった」などの意見が聞かれた。



- 令和元年度からは、「聞き書き研修」をさらに発展させ、「能登の里山里海」の生業を高校生に体験してもらい、地域の魅力の再発見や定住のきっかけをつくる取組を実施し、動画で紹介。【[https://noto-giahs.jp/gal\\_movie.html](https://noto-giahs.jp/gal_movie.html)】

- 地域内の小学生(高学年)を対象に、身近な存在である「能登の里山里海」をより理解してもらうため、副読本教材を作成し配布。



- 石川県内の大学生を対象に、能登をフィールドワークの場所として、地域振興の実践例を学び、能登への理解を深める「いしかわ里山塾」を平成30年度から開催。参加した大学生は、自らの経験を活かして小学生に対して出前授業を実施。

- 高校生対象プログラム(聞き書き含む)への参加人数:累計252人参加(R1~R5)
- 聞き書き研修(~H30)を受け入れた地域の名人の人数:累計73人参加
- 里山塾に参加した小学生の人数:累計564人参加(H30~R5)

## 観光産業との連携

### 地域資源を活用した観光産業の推進

- 「能登の里山里海」の地域資源を活用した、イベントやツアーなどを実施。

#### 【白米千枚田でのイベント】

「能登の里山里海」を代表する棚田となっている「白米千枚田」では、「あぜのきらめき」や「稲刈りイベント」などが実施され、観光客は着実に増加。



「あぜのきらめき」などのイベントを実施。

## 農林水産業の振興

### 農林水産物の付加価値向上と生産振興

- 「能登の里山里海」で磨かれた選りすぐりの食品を、世界農業遺産 未来につなげる「能登の一品」として認定。(令和6年3月現在43品が認定)

認定商品には  
ロゴマーク  
をつけてPR



【認定商品販売額】  
認定前に比べ  
**約30%増**  
(認定商品の平均)  
※令和元年度実績



能登大納言小豆 奥能登揚げ浜塩

- 地元企業と連携して、「いしかわり山振興ファンド」を創設。里山里海の地域資源を活用した商品・サービスの開発等に取り組む地域住民や企業等を支援



- 地元金融機関と連携して、「いしかわ農業参入支援ファンド」を創設し、耕作放棄地の解消を目指す経営体の営農定着のために5年間支援。平成26年7月に設置され、(公財)いしかわ農業総合支援機構が運営。基金総額は200億円。

- 世界農業遺産 未来につなげる「能登の一品」の認定数:-(H23)→**43品**(R5年度末)
- いしかわり山振興ファンドの採択件数: 11件 (H23)→**23件**(R5)累計203件採択
- 世界農業遺産認定後の能登の農業参入企業等の数: **41社**(R5年度末)

#### 【世界農業遺産スタディツアー】

都市部の住民を対象に、平成23年度より、企業とタイアップして「世界農業遺産スタディツアー」を実施。ツアーの参加者は、世界農業遺産を学び、「能登の里山里海」の多彩な魅力を体験。



- 世界農業遺産スタディツアーの開催回数: 2回/年(H23)→**2回/年**(R5)累計40回開催
- 世界農業遺産スタディツアーの参加者数: 55人(H23)→**59人**(R5)累計1,407人参加
- 白米千枚田への来客数: 420,600人/年(H23)→**451,100人/年**(R4)